



# 新牛久ごみニュース

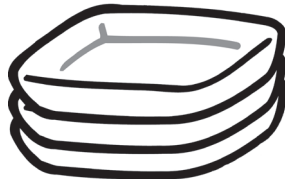
## 牛久市のリサイクルルール

### （プラスチックごみ編）

他市とは異なるプラスチックごみの理由  
 他市町村から当市に引越されてきた方にとって一番分かりにくいのが「プラスチックごみ」だと思います。実際に処理の現場では多くの不適物が混ざっているのが現状です。どうして今のようない分別になったのでしょうか？

#### ☆牛久市のプラスチックごみとは？

牛久市のプラスチックごみは、白色発泡スチロール製のトレイや箱、こん包材などを指し、そのほかのプラスチック容器類は燃えるごみになります。集められたプラスチックごみはすべて手作業で処理しており、不適物を分けて洗浄し、インゴットと呼ばれる白い塊に溶融されます。インゴットはプラスチック再生業者へ搬出され、再生プラスチックの材料として利用されています。



#### ☆どうして今この分別になったの？

発泡スチロールに限定されていることだと思えます。以前は牛久市でもすべてのプラスチック容器類をプラスチックごみとして分別していました。牛久クリーンセンター稼働当初は、プラスチックごみから油を作る実験プラントがメーカーにより無償で建設されており、プラスチック製品全般のリサイクルに試行錯誤していたのです。しかし、分別が徹底されていないなどの理由から、リサイクルされた油は実用に耐え得る品質ではなく、大量に排出されるプラスチックごみの分別自体を見直さなければならなくなりました。そのような検討の結果、すべてのプラスチックごみを無くすのではなく、お金をかけずに少しでも再資源化できるよう平成14年度から現

在の分別となったのです。また、牛久クリーンセンターでは燃えるごみの焼却熱量を工場内で利用しており、熱回収（サーマルリサイクル）としても再利用しています。

#### ☆プラスチックごみで注意することは？

左記の点に注意して分別してください。

#### ～プラスチックごみ分別のポイント～

対象	白色発泡スチロール製の「トレイ」、「箱型」、「こん包材（果物ネットも含む）」など
注意点	<ul style="list-style-type: none"> <li>色付き、柄付きは「燃えるごみ」へ</li> <li>汚れがないよう洗浄する</li> <li>販売店の店舗回収を利用する</li> </ul>

ださい。また、白色トレイなどはお店での自主回収も行っていますので、ぜひご利用ください。  
 牛久クリーンセンターでは、ごみ処理の過程でも再資源化の取り組みを行っています。次回は見えないところでの資源化についてお知らせします。

#### 事業所のごみも適正な分別を！

～事業者の皆さんへ～

現在、牛久クリーンセンターに持ち込まれるごみには多くの資源物が混在しています。その中でも特に事業所からのごみは、資源物が大量に混在している状況が見受けられます。事業者の皆さんも環境を守るためにご家庭のごみと同様、資源を分け、適正に分別していただきませうお願いします。

また、まとまった量の資源物が発生するような場合には、直接売却できるものもありますので、市清掃施設課までお気軽にご相談ください。